

(公財) 日本スポーツ協会 (JSPO) 公認アスレティックトレーナーについて

スポーツウエルネス学部・研究科

【アスレティックトレーナー (JSPO-AT) とは】

- 1) スポーツ活動中の外傷・障害予防 2) 医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応
3) コンディショニングやリコンディショニング 4) アスリートの安全と健康管理

上記4つの役割に関する知識と実践能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保したうえで、パフォーマンスの回復や向上を支援する指導者です。その指導対象は、日本代表やプロスポーツ選手などとして活動する競技者のみならず、地域スポーツクラブ、学校・大学等の運動部活動、民間スポーツ施設、地域のスポーツセンターなどでスポーツ活動をするすべての人々です。

【資格取得までのフロー】

- ①AT 専門科目 (22 科目) の修得
- ②共通科目Ⅲの受講完了申請および「スポーツコーチングリーダー」登録
- ③AT 現場実習 (180 時間以上) の完了
- ④アスレティックトレーナー受講完了申請
- ⑤実技確認テスト
- ⑥アスレティックトレーナー専門科目検定試験 (検定試験)

【①AT 専門科目 (22 科目) の修得】

下記 22 科目を全て履修し、単位を修得する必要があります。

指定科目	
配当年次 1~4 年	
アスレティックトレーナーの役割	運動生理学
解剖学 1	解剖学 2
配当年次 2~4 年	
スポーツ科学の応用と活用 ※	スポーツ現場におけるリスクの管理と対応
アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング概論	コンディショニングの方法
ストレングス・コンディショニング論 (基礎)	コンディショニング概論
スポーツ医学 (外傷・障害) 1	測定と評価
アスレティックリハビリテーション実習 1 ※	
配当年次 3~4 年	
バイオメカニクス	救急処置
スポーツ医学 (内科)	ストレングス・コンディショニング論 (応用)
アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング 1	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング 2
アスレティックリハビリテーション実習 2 ※	アスレティックリハビリテーション実習 3 ※
アスレティックリハビリテーション実習 4 ※	

※その他登録科目のため、履修登録にあたっては、別途募集を行うため注意すること。それ以外の「科目コード登録」および「抽選登録科目」は自身で履修登録を行うこと。[科目の詳細は、R Guide 掲載の科目表で確認すること。](#)

履修推奨科目（※）

配当年次 2~4 年

コンディショニングの実際

スポーツ医学（外傷・障害） 2

※指定科目ではないが、履修が推奨される科目。単位修得しなくとも資格取得可。

【②共通科目Ⅲの受講完了申請および「スポーツコーチングリーダー」登録】

R Guide に掲載の以下資料を確認し、「スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース共通科目Ⅲ」の受講完了申請および「スポーツコーチングリーダー」登録を完了すること。

[共通科目受講完了申請および「スポーツコーチングリーダー」資格取得について](#)

【③AT 現場実習（180 時間以上）の完了】

認定施設での 180 時間以上のスポーツ現場での活動が必要になります。

AT 現場実習は「スポーツ科学の応用と活用」「アスレティックリハビリテーション実習 1~4」の授業の一環として実施します。詳細については、授業内および現場実習の手引にて説明を行います。

・「スポーツ科学の応用と活用」「アスレティックリハビリテーション実習 1~4」の履修について

「スポーツ科学の応用と活用」「アスレティックリハビリテーション実習（アスリハ実習）1~4」は履修する学期の前学期に選考を行い、履修者を決定する。履修希望者は、選考に必ず応募すること。定員数が決まっているため、AT 資格希望者の人数によっては落選する可能性がある。履修の方法が 2 パターンあるため、自身の予定や状況に合わせて判断し、AT 担当教員と相談の上、決定すること。

<履修パターン A>

2 年次春学期~4 年次春学期の 5 学期間で 180 時間以上の実習を行う。このパターンを選択した場合は、⑤実技確認テストの受験が 4 年次夏以降となる。実技確認テスト合格後に⑥検定試験受験となるため、4 年次秋の検定試験受験となる。この場合、早ければ卒業時に資格取得が完了する。

【2年次春学期】

スポーツ科学の応用と活用
(見学実習約30h)

【2年次秋学期】

アスリハ実習1
(経験・実践実習約40h)

【3年次春学期】

アスリハ実習2
(経験・実践実習約40h)

【3年次秋学期】

アスリハ実習3
(経験・実践実習約40h)

【4年次春学期】

アスリハ実習4
(経験・実践実習約40h)

<履修パターン B>

在学中に資格取得が可能なパターン。2 年次春学期~3 年次秋学期の 4 学期間で 180 時間以上の実習を受講する。3 年次秋学期までに①AT 専門科目（22 科目）の単位修得、②共通科目Ⅲの受講完了申請および「スポーツコーチングリーダー」登録、③AT 現場実習（180 時間以上）の完了が終了した場合は、3 年次に⑤実技確認テストの受験ができ、4 年次の春以降の⑥検定試験受験となる。この場合、早ければ 4 年次夏には資格取得が完了する。※2 年次秋学期に「アスレティックリハビリテーション実習 2」に加えて「アスレティックリハビリテーション実習 4」の選考にも参加が必要となるため注意すること。

【2年次春学期】

スポーツ科学の応用と活用
(見学実習約30h)

【2年次秋学期】

アスリハ実習1
(経験・実践実習約40h)

【3年次春学期】

アスリハ実習2、アスリハ実習4
(経験・実践実習約80h)※同時履修

【3年次秋学期】

アスリハ実習3
(経験・実践実習約40h)

【④アスレティックトレーナー受講完了申請】

①から③を全て終了した学生については、成績を確認した上で大学が一括して協会に申請を行う(例年9月・3月の年2回)ため、受講完了申請を希望する学生は、締切までに以下の Google フォームより学内申請を行うこと。

<https://forms.gle/zeLMMoJzjqcVzwR7A>

春学期申請期間：2026年9月2日(水) 10:00～9月18日(金) 16:00【厳守】

秋学期申請期間：2027年3月1日(月) 10:00～3月19日(金) 17:00【厳守】

【⑤実技確認テスト】

①から④を全て完了している希望者(3、4年生対象)に対して、毎年8月頃と3月頃に実施する予定です。詳細なスケジュール・要項については別途 R Guide にて案内します。

【⑥検定試験】

全国のテストセンターで開催(春、秋の年2回)される検定試験(コンピューターを使用して受験する形式)を受験します。ただし、検定試験は卒業後の受験でも可能なため、学生個人で受験タイミングを選択して受験します。

⑥の受験のために、事前に JSPO が定める一次救命処置(以下、BLS)資格に関して、下記の条件を満たす者となっています。検定試験申込時点で有効期限内の認定証を有する者。BLS 資格については下記に記載する。

BLS 資格について、以下の条件を全て満たす講習会を有効とする。

- (1) 最新の国際ガイドラインに準じた成人向けの講習会であること。
- (2) 心肺蘇生法および AED に関する実技の実習が含まれている講習会であること。
- (3) 心肺蘇生法および AED に関する実技評価の結果により、認定日と有効期限または再受講の目安が記載された修了証または認定証が発行される講習会であること。
- (4) 原則として、以下の団体等が主催する講習会であること。

(ア) 日本赤十字社 (イ) 日本救急蘇生普及協会 (ウ) 国際救命救急協会 (エ) 日本ライフセービング協会 (オ) Medics First Aid (MFA) JAPAN (カ) マスター・ワークス (キ) 消防署・消防庁 (ク) 日本 ACLS 協会 (ケ) 日本サッカー協会 (コ) American Academy of Orthopedic Surgeons (サ) American Heart Association (シ) American Red Cross (ス) American Safety and Health Institute (セ) Canadian Red Cross ※(コ)～(ス)はアメリカ、(セ)はカナダの組織

参考

◇資格取得に必要な費用(前後する可能性があります)

I テキスト代 22,220～31,460 円(紙版と電子版で値段が異なります)

※内訳

共通科目リファレンスブック 3,520 円～4,840 円

専門科目テキスト(6巻) 18,700 円～26,620 円

上記全てのテキストを各自で購入することが必須となっています。「指導者マイページ」から購入可能で、購入時は「紙版」に加え、一部書籍は「電子版」の購入も可能。支払い方法は、クレジットカード・コンビニ支払いを選択できる。

指導者マイページにログイン後、メニューの「書籍」-「書籍一覧」から購入を希望する書籍を選択して購入することができる。詳しくは【[指導者マイページマニュアル](#)】の4～13ページを参照すること。

購入後は「指導者マイページ」のメニュー「書籍」の「書籍一覧」で上記のテキストの購入ステータスが「購入済」になっていることを必ず確認すること。

※自分の「指導者マイページ」から購入し、ステータスが「購入済」になっているものだけが認められる。他人から譲り受けたものでは、受講完了申請ができないので注意すること。

II 試験受験料 32,000 円

※内訳

実技確認テスト（上記④）：10,000 円前後

検定試験（上記⑥）（検定試験基礎：11,000 円、検定試験応用：11,000 円）

III 初年度登録費用 26,600 円

※内訳

基本登録料 10,000 円／4年間 保有する資格数に関わらず、一律でかかる登録料

初期登録手数料 3,300 円／1資格 その資格を初めて登録する際にかかる手数料

⇒スポーツコーチングリーダーとアスレティックトレーナーの登録となるため、 $3300 * 2 \text{ 資格} = \underline{6,600 \text{ 円}}$

資格別登録料 資格により異なる 保有する資格ごとの登録料

アスレティックトレーナー 10,000 円／4年間 スポーツコーチングリーダー 0 円／4年間

◆問い合わせ先

スポーツウエルネス学部

吉田成仁：naruto-y@rikkyo.ac.jp

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー (JSPO-AT) 現場実習 (AT 現場実習) の手引き

現場実習の目的

- 1) 現場実習では、「JSPO-AT の役割 (コンピテンシー・業務) についてスポーツ現場等で学修する機会を提供し、JSPO-AT のコンピテンシーの修得に必要な知識・技能、思考・態度を身につけること」が主な目的となります。
- 2) 現場実習のうち「見学実習」では「JSPO-AT がどのような役割を担い、どのような能力が必要かを説明できる」ことが、「総合実習」では「JSPO-AT の役割に応じた技能を実践できる」ことがその到達目標として定められており、現場実習はこれらを包括的に学修することを目的とします。
- 3) 現場実習では、専門科目として学修した JSPO-AT の役割を担うために必要な知識・技能、思考・態度の統合を図りつつ、実践へ応用する能力を養うことを目的とします。

実習の分類と目標

現場実習は「見学実習」と「総合実習」に分類されます。「見学実習」の後、「総合実習」を行うことが望ましいです。「総合実習」は「総合実習 (経験)」と「総合実習 (実践)」に分類され、「総合実習 (経験)」の後、「総合実習 (実践)」を行うこと。実習内容の定義は以下の通りとします。

- 1) 「見学実習」: 実習生が現場実習指導者の行う知識・技能、思考・態度の解説を受けながら観察すること。
- 2) 「総合実習 (経験)」: 現場実習指導者の十分な助言および指導のもとに現場実習チェックシートに定められた実習項目を行うこと。実習生が現場実習指導者の行なっている技能を部分的に手伝えることや、手本を示してもらった技能、態度を、助言および指導を受けながら現場実習指導者とともに実践することを含む。
- 3) 「総合実習 (実践)」: 実習生が現場実習指導者の監督の下で、現場実習チェックシートに定められた実習項目を主体的に行うこと。

実習スケジュールと評価

- 1) 「見学実習」は 30 時間以上、「総合実習」は 150 時間以上行うものとします。
- 2) 申請できる一日の実習時間および一週あたりの日数は、一日 3 時間以内、週 5 日間までとします。
- 3) 合宿や遠征等長期にわたる現場実習については、一日 6 時間以内で連続して最長 5 日間までとし、年間 2 回までを原則とします。
- 4) イベント・大会等の帯同における現場実習については、一日 6 時間以内で年間 5 日までを原則とします。
- 5) 現場実習指導者が帯同しない合宿、試合は現場実習として認めません。
- 6) 評価は、ポートフォリオ、現場実習チェックシート、およびループブックに基づき実施します。
- 7) 実習生は自身の学修記録を詳細に記録し、達成度の自己評価を行います。

安全管理と倫理的手続き

- 1) 実習生は、実習要項に基づき事前学修を行い、実習中の行動の指針として活用すること。
- 2) 実習生は、感染予防対策としての基本的な衛生管理を徹底すること。
- 3) 実習先での事故や災害発生時の対応策を確認し、迅速な対応を行うこと。
- 4) 個人情報の保護と守秘義務に関して厳格な規則を遵守すること。

注意事項

- 1)実習生は、実習指導者の指示に従い、実習に臨むこと。
- 2)事前に実習内容を確認し、準備を整えること。
- 3)安全第一で実習を行い、不明点があれば直ちに実習指導者に相談すること。

履修登録について

- 1)JSPO-AT 現場実習を行うためには、「アスレティックリハビリテーション実習1～4」のいずれかを履修中である必要があります。「アスレティックリハビリテーション実習1～4」のいずれかを履修登録していない学期は、現場での活動を行ったとしても、AT 現場実習の時間としてはカウントできません。
- 2)「アスレティックリハビリテーション実習1～4」の履修登録のためには、事前に行われる履修者選考に合格する必要があります。開講学期の開始前に履修希望者募集期間に希望届を提出する必要があります。(具体的な詳細スケジュールについては R Guide で案内します)
- 3)「アスレティックリハビリテーション実習2」と「アスレティックリハビリテーション実習4」は3年次の春学期に同時履修することが可能です。同時履修を希望する場合には、両科目の選考に参加し合格すること。詳細は「(公財)日本スポーツ協会(JSPO)公認アスレティックトレーナーについて」資料の【③AT 現場実習(180時間以上)の完了】を参照すること。